

わかりやすい成年後見実務の手引き

一問一答集

2009年2月



社団法人千葉県社会福祉士会

目次

1. 成年後見制度の概要と理念
 - Q1-1 成年後見制度のあらましを知りたい
 - Q1-2 成年後見制度の理念とは、どのようなことでしょうか
 - Q1-3 法定後見制度のあらましを知りたい
 - Q1-4 法定後見の申し立てまで、どのような手続きの流れになりますか
 - Q1-5 任意後見制度のあらましを知りたい
 - Q1-6 任意後見契約の締結まで、どのような手続きの流れになりますか
 - Q1-7 自己決定の尊重の理念とは、どのようなことでしょうか
 - Q1-8 法定後見では、自己決定の尊重のため、どのような支援が必要でしょうか
 - Q1-9 任意後見では、自己決定の尊重のため、どのような支援が必要でしょうか
 - Q1-10 エンパワメント、アドボカシーをどのように理解し、実践するとよいでしょうか
2. 成年後見人等に選任されるまでの実務
 - Q2-1 家庭裁判所との連絡は、どのようにしますか
 - Q2-2 家庭裁判所の調査は、どのように行われますか
 - Q2-3 審判中に、後見人候補者として協力することがありますか
 - Q2-4 審判の結果は、どのように伝達されますか
 - Q2-5 登記事項証明書は、どのようにすれば交付されますか
3. 成年後見人等に選任されたあとの初期の実務
 - Q3-1 選任後の初めての面接では、なにが大切でしょうか
 - Q3-2 本人と成年後見人等とは、どのようにして信頼関係を築いたらよいでしょうか
 - Q3-3 家族や地域の関係者とは、どのように連携をしますか
 - Q3-4 成年後見人等の役割について、どのような内容を、どのように説明しますか
 - Q3-5 成年後見人等は、代理権および同意権・取消権を、どのように行使しますか
 - Q3-6 後見計画は、どのようにして作りますか
 - Q3-7 財産管理の計画は、どのようにして作りますか
 - Q3-8 身上監護の計画は、どのようにして作りますか
 - Q3-9 財産調査は、どのようにしますか
 - Q3-10 財産目録は、どのようにして作りますか

成年後見制度をどのように利用するとよいか？

わかりやすい
一問一答集

2010年4月



社団法人 千葉県社会福祉士会

(権利擁護センターぱあとなあ千葉)

目 次

1. 成年後見制度全般について

- Q1-1 成年後見制度は、どのようなときに利用するとよいでしょうか
- Q1-2 法定後見制度は、どのような人に役立つのでしょうか
- Q1-3 法定後見制度のあらましを知りたい
- Q1-4 任意後見制度は、どのような人に役立つのでしょうか
- Q1-5 任意後見制度のあらましを知りたい
- Q1-6 高齢者や障害者が自立した生活を安心して送れるためには、どのような権利擁護の制度がありますか
- Q1-7 高齢者は、成年後見制度をどのように利用したらよいでしょうか
- Q1-8 知的障害者は、成年後見制度をどのように利用したらよいでしょうか
- Q1-9 精神障害者は、成年後見制度をどのように利用したらよいでしょうか
- Q1-10 なぜ、新しい成年後見制度ができたのでしょうか
- Q1-11 新しい成年後見制度には、どのような特徴がありますか
- Q1-12 法定後見制度と任意後見制度を比べると、どのような違いがありますか
- Q1-13 成年後見制度の利用状況はどのようになっていますか

2. 法定後見制度における成年後見人等の役割について

- Q2-1 補助人はどのような役割をもちますか
- Q2-2 保佐人はどのような役割をもちますか
- Q2-3 成年後見人はどのような役割をもちますか
- Q2-4 同意権・取消権の内容について知りたい
- Q2-5 代理権の内容について知りたい
- Q2-6 代理と代行の違いを知りたい
- Q2-7 後見を受ける人には、どのような制約がでてきますか
- Q2-8 財産管理の内容について知りたい
- Q2-9 身上監護の内容について知りたい
- Q2-10 身上配慮義務とは、どういうことをいうのでしょうか
- Q2-11 成年後見人等には、誰になってもらえますか
- Q2-12 本人と成年後見人等との利害（利益相反）関係とは、どのようなことでしょうか
- Q2-13 成年後見人等は報告義務を負うと聞きますが、どのようなことでしょうか
- Q2-14 成年後見人等には、信頼して財産管理等をまかせることができますか
- Q2-15 成年後見人等に不都合があった場合には、解任できますか
- Q2-16 成年後見人等のできること、できないことは何でしょうか